



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月9日

上場会社名 株式会社昭和システムエンジニアリング 上場取引所 東
コード番号 4752 URL <https://www.showa-sys-eng.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 裕一
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 五十嵐 真貴 TEL 03-3639-9051
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	5,975	15.8	780	31.0	794	31.0	545	30.5
2023年3月期第3四半期	5,158	7.9	595	22.1	606	22.3	417	23.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	124.62	—
2023年3月期第3四半期	95.52	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	7,806	4,812	61.6
2023年3月期	7,676	4,412	57.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 4,812百万円 2023年3月期 4,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300	3.0	790	3.4	800	3.1	536	1.7	122.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	4,810,000株	2023年3月期	4,810,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	435,201株	2023年3月期	435,169株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	4,374,810株	2023年3月期3Q	4,374,831株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、資源価格の高騰や物価高に加え、中東地域をめぐる情勢、世界的な金融引き締めの影響など先行き不透明感はありましたが、各種政策の効果もあって、緩やかに景気回復の動きが続きました。

当社を取り巻く情報サービス産業においては、企業の事業拡大、競争力強化、業務効率化のためのIT環境整備等、システム化投資需要は拡大基調が続いております。

このような環境下、当社は2022年4月からの中期経営計画「+transform 2nd Stage」の2年目として引き続き4つの基本方針①DXの推進、②既存ビジネス領域の維持・拡大、③社内デジタル基盤の強化、④人材確保と働き方改革のもと、ハイモダルなDXカンパニー実現に向け積極的な事業活動を行ってまいりました。

また、当第3四半期累計期間においては重要な経営課題である新卒採用の強化及び従業員エンゲージメントの維持・向上を図るため全従業員の賃金改定を実施いたしました。

その結果、当第3四半期累計期間の業績は堅調な企業のIT投資需要を捉えることで、売上高5,975百万円(前年同期比15.8%増)、営業利益780百万円(前年同期比31.0%増)、経常利益794百万円(前年同期比31.0%増)、四半期純利益545百万円(前年同期比30.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は6,379百万円(前事業年度末比195百万円の増加)となりました。主な要因は現金及び預金が204百万円増加し、売掛金及び契約資産が11百万円減少したことによります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産は1,426百万円(前事業年度末比65百万円の減少)となりました。主な要因は投資その他の資産に含めた投資有価証券の時価評価額が43百万円増加したものの、繰延税金資産が96百万円減少したことによります。

その結果、当第3四半期会計期間末における資産合計は7,806百万円(前事業年度末比129百万円の増加)となりました。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は941百万円(前事業年度末比254百万円の減少)となりました。主な要因はその他に含めた未払金が42百万円増加したものの、未払法人税等が111百万円、賞与引当金が201百万円それぞれ減少したことによります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債は2,053百万円(前事業年度末比15百万円の減少)となりました。これは退職給付引当金が15百万円減少したことによります。

その結果、当第3四半期会計期間末における負債合計は2,994百万円(前事業年度末比270百万円の減少)となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は4,812百万円(前事業年度末比400百万円の増加)となりました。主な要因は配当金の支払174百万円による利益剰余金の減少があったものの、四半期純利益545百万円による利益剰余金の増加及びその他有価証券評価差額金29百万円の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期業績予想につきましては、2023年5月12日に発表いたしました業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,261,166	5,465,283
売掛金及び契約資産	893,544	882,510
仕掛品	786	5,984
その他	29,278	26,014
流動資産合計	6,184,776	6,379,794
固定資産		
有形固定資産	167,064	160,648
無形固定資産		
ソフトウェア	65,417	55,438
その他	3,332	3,332
無形固定資産合計	68,749	58,770
投資その他の資産		
繰延税金資産	720,186	623,428
その他	535,925	583,888
投資その他の資産合計	1,256,112	1,207,317
固定資産合計	1,491,926	1,426,735
資産合計	7,676,703	7,806,529
負債の部		
流動負債		
買掛金	338,168	317,089
短期借入金	10,000	10,000
未払法人税等	161,809	50,126
賞与引当金	419,774	218,464
その他	265,688	345,409
流動負債合計	1,195,440	941,090
固定負債		
役員退職慰労未払金	60,973	60,973
退職給付引当金	2,008,063	1,992,144
固定負債合計	2,069,036	2,053,117
負債合計	3,264,477	2,994,207
純資産の部		
株主資本		
資本金	630,500	630,500
資本剰余金	553,700	553,700
利益剰余金	3,510,289	3,880,497
自己株式	△237,938	△237,976
株主資本合計	4,456,551	4,826,721
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	135,052	164,979
土地再評価差額金	△179,378	△179,378
評価・換算差額等合計	△44,326	△14,398
純資産合計	4,412,225	4,812,322
負債純資産合計	7,676,703	7,806,529

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	5,158,364	5,975,741
売上原価	4,235,663	4,852,691
売上総利益	922,701	1,123,050
販売費及び一般管理費	327,063	342,921
営業利益	595,637	780,128
営業外収益		
受取利息	185	171
受取配当金	7,129	9,338
受取家賃	1,395	1,395
受取手数料	417	355
雑収入	1,812	3,042
営業外収益合計	10,940	14,302
営業外費用		
支払利息	35	38
その他	0	—
営業外費用合計	35	38
経常利益	606,542	794,392
特別利益		
固定資産売却益	4,356	—
特別利益合計	4,356	—
税引前四半期純利益	610,898	794,392
法人税、住民税及び事業税	110,307	165,641
法人税等調整額	82,699	83,550
法人税等合計	193,006	249,192
四半期純利益	417,892	545,200

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期損益計算書計上額(注)2
	ソフトウェア開発事業	BPO事業	合計		
売上高					
SEサービス	4,570,380	100,039	4,670,419	—	4,670,419
受注制作	487,945	—	487,945	—	487,945
顧客との契約から生じる収益計	5,058,325	100,039	5,158,364	—	5,158,364
セグメント利益	915,097	7,603	922,701	△327,063	595,637

(注) 1. セグメント利益の調整額△327,063千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期損益計算書計上額(注)2
	ソフトウェア開発事業	BPO事業	合計		
売上高					
SEサービス	5,334,749	100,054	5,434,803	—	5,434,803
受注制作	540,938	—	540,938	—	540,938
顧客との契約から生じる収益計	5,875,687	100,054	5,975,741	—	5,975,741
セグメント利益	1,110,120	12,930	1,123,050	△342,921	780,128

(注) 1. セグメント利益の調整額△342,921千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。